港湾振興便り

2016．10

第113号

＊：＊

目　　次

＊：＊

1　ポートエッセイ　—進化する世界の公共交通
訪問先のフランスで実感—

～日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）篠田　昭～

2　トピックス

●はだしで砂浜を楽しむ「酒田ビッグビーチフェスタ2016～海と日本プロジェクト～」を開催しました。
（山形県酒田市商工観光部商工港湾課）

●第１回庄内おばこ鯖まつりを開催しました。
（山形県鶴岡市建設部温海建設事務室）

●「みんなの防災フェア2016＆スマートエネルギーフェア」が新潟県長岡市で開催されました。
（北陸地方整備局　港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課）

●新潟港ポタリングが開催されました。
（北陸地方整備局　新潟港湾・空港整備事務所）

●金沢港大浜地区国際物流ターミナル（拡張部分）完成式典を開催しました。
（北陸地方整備局　金沢港湾・空港整備事務所）

●第17新潟技調講演会を開催されました。
（北陸地方整備局　新潟港湾空港技術調査事務所）

●御前崎港客船誘致協議会を設立しました。
（御前崎市役所商工観光課企業室）

●「境港外港中野地区国際物流ターミナル供用式典」を開催しました。
（中国地方整備局　境港湾・空港整備事務所）

●海煌（かいこう）緊急出動で鹿児島湾へ。
（九州地方整備局　熊本港湾・空港整備事務所）

3お知らせ

○「“東京湾大感謝祭2016”を横浜赤レンガ倉庫で開催します～学び、体験して、味わう～」
（関東地方整備局　港湾空港部　事業継続計画官）

○公認釣りインストラクター募集

＊：

1　ポートエッセイ

—進化する世界の公共交通　訪問先のフランスで実感—

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長)　篠田　昭～

＊：＊

（2020年東京五輪に向けて）

今月初めにフランスを訪問する機会があった。いま日本全国で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて各国代表チームの合宿誘致に取り組んでいるが、私が市長を務める新潟市はフランスの空手やレスリングなどの代表チームを新潟に招く運動を進めている。パリではこれらの競技団体責任者・幹部と懇談し、事前の強化合宿なども含め交流を深めようとしている。

フランス訪問のもう一つの目的が日仏自治体交流会議への出席だった。こちらはパリからTGV（フランスの新幹線）で1時間半ほどの距離にあるトゥール市で開催された。トゥールは人口13万5千ほどの小都市だが、3年前にトラム（LRT）を導入したばかりで、進化するフランスの公共交通を実感する旅となった。

（トラムの街、ナント市）

新潟市は7年前、フランスのナント市と姉妹都市となった。「ナントの勅令」で知られる歴史ある都市だが、いまは欧州の創造都市のトップランナーであり、「欧州文化首都」などにも選ばれている。ナント市には「トラムの街」の異名もある。1980年代から軽量路面電車・トラム（LRT）を3路線導入し、中心市街地を甦らせた。

トラムは事業費がかかるため、その後は専用路線に連節バスなどを走らせるBRTを1路線新設した。さらにここ数年は専用路線ではなく一般道路を使った「まちなかBRT」を7路線走らせ、「トラムの街」から「公共交通の街」に変身している。ナント市は人口30万人。ナント広域圏でも60万人規模だが、公共交通を充実させたことで、まちなかは夜遅くまで賑わっている。

（トラムと連節バスがスペースを共有）

今回訪れたトゥール市はそれよりさらに小さい都市だが、公共交通は同じように充実していた。中心街を走るトラムは3年前に新設されたばかりなので、より効率的になりスマートになっていた。驚いたのはほとんどの路線でスペースをBRTと共有していたことだ。つまりレールの上を連節バスも走り、トラムの停車駅がバスの停車場にもなっていた。日本でこの方式を導入できれば、バス専用レーンがあればLRTにも使えることになる。さらにスペースが狭い一番の繁華街では両脇の道路がなくなり、トラムの専用路となっていた。マイカーより公共交通を優先させる思想がヨーロッパでは浸透していると聞いていたが、その通りだった。

（公共交通への考え方に大差）

いま、全国の地方都市が公共交通の維持に頭を悩ましている。新潟市でも昨年9月に公設民営方式で「まちなか BRT」を導入したが、その是非を巡って大変な議論となった。国の支援を得て市が連節バスを4台購入するに当たっても多くの反対があった。ナント市の公共交通担当に聞くと、「フランスでは市も、広域圏も、国も一緒になって公共交通の充実を図っている。公共交通に力を入れない市長は落選する」と言われた。新潟市では連節バス4台の導入で大議論となったが、ナント市では連節バスが140台走っているそうだ。欧州と日本の公共交通に対する考え方の差の大きさに驚いたものだが、今回のトゥール訪問で、さらに進化するフランスの公共交通事情を知ることになった。日本のまちづくりはこれで良いのだろうか。

＊：＊
２ トピック
＊：＊

●はだしで砂浜を楽しむ「酒田ビッグビーチフェスタ2016～海と日本プロジェクト～」を開催しました。

（山形県酒田市商工観光部商工港湾課）

９月２２日（木・祝）に酒田市大浜海岸を会場に、大浜海岸ビーチイベント「酒田ビッグビーチフェスタ２０１６～海と日本プロジェクト～」が開催されました。

今回の取組は、公益財団法人日本財団が実施する「海と日本プロジェクト2016サポートプログラム」助成事業の「『西の堺　東の酒田』湊町復活（リバイバル）事業」の最後を飾るイベントとして、国、山形県、酒田市、関係団体等で組織する「『海の日』記念事業実行委員会」が企画。

当日はビーチバレーボール大会の他、はだしになって汗をかき家族愛を深めることを目的とした家族対抗はだし運動会、元全日本男子バレーボール主将で、現在は堺ブレイザーズアドバイザーの中垣内祐一氏をはじめとするトップアスリートたちとの交流、地元酒田市にある株式会社プレステージ・インターナショナル山形女子バレーボールチーム「アランマーレ」との交流、地元と大阪府堺市の海産物を使ったグルメ交流、熱中症対策の啓発活動としてスイカを振る舞う「給スイカ」ステーションなどが実施されました。

当日は時折雨が降るあいにくの天候となりましたが、来場者はビーチバレーボール大会や家族対抗はだし運動会などで汗を流したり、海産物に舌鼓を打ったり、思い思いの方法で大浜海岸でのイベントを楽しみました。

最後には、参加者・スタッフ全員で会場のクリーンアップ活動を実施。主催者である「海の日」記念事業実行委員会では、今後も様々な事業を通して「海の日」の啓発活動や酒田港の更なる賑わい創出に取り組んでいくこととしています。

トップアスリートたちが元気に開会宣言

ビーチバレーボールでの熱戦

子ども達が一生懸命にフラッグを目指す

新たな酒田名物　北前船障害物競争

地元チーム「アランマーレ」との交流

地元＆堺市の海産物を使ったグルメ交流

熱中症対策「給スイカステーション」

最後はみんなでクリーンアップ

●第１回庄内おばこ鰆まつりを開催しました。

（山形県鶴岡市建設部温海建設事務室）

平成28年9月25日（日）、あつみ観光協会鼠ヶ関支部主催の「第１回庄内おばこ鰆まつり」がJR鼠ヶ関駅周辺で開催されました。

地元で水揚げされる、今が旬の庄内おばこ鰆の PR のため行われたイベントで、今年、第1回目の開催にも関わらず、800人もの皆様からご来場いただきました。

当日は、庄内地酒の試飲（有料）、鰆料理と特産品の販売などが行われ、大変なにぎわいとなりました。次回開催時にも、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

●「みんなの防災フェア2016＆スマートエネルギーフェア」が新潟県長岡市で開催されました。

（北陸地方整備局　港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課　）

平成28年10月1日（土）～10月2日（日）、新潟県長岡市千秋(せんしゅう)のハイブ長岡において、「みんなの防災フェア2016＆スマートエネルギーフェア」が開催されました。

本イベントは、民放テレビ「TeNYテレビ新潟」が中心となった実行委員会が主催し、東日本大震災などの災害から新潟県民の命と生活を守るため、防災啓発活動を行うもので平成24年から毎年開催されており、今年で5回目の開催となります。

北陸地方整備局は毎年、土石流3D体験装置や建設機械のラジコンモデルなどを活用した市民体験参加型の内容で共催者として参加しています。

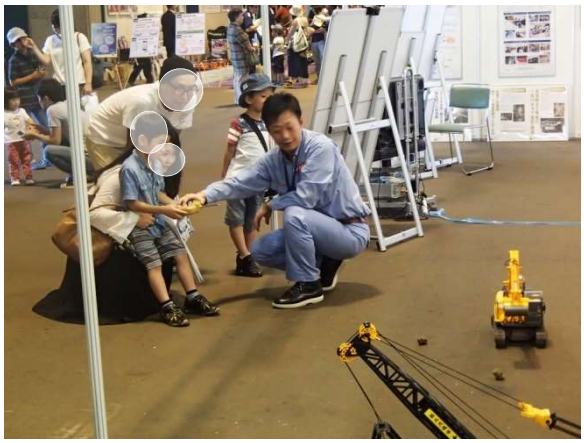
港湾空港部として、今回は港湾施設の地震および津波の災害対策や東日本大震災と今年4月に発生しました熊本地震に対応しました緊急支援物資輸送活動記録などを扱ったパネルを展示しました。

北陸地方整備局の展示ブースには家族連れなど沢山の方が集まり、延べ2日間にわたり18，763人の来客があり盛況のうちに閉幕しました。

〇開会式

長岡市　金子　危機管理監のあいさつ

〇防災への市民参加の取組み



建設機械のラジコンモデルで遊ぶ来客

〇パネル展示

白山の災害対応活動パネルを見る親子の来客

〇防災関係車両展示

災害対策本部車を見学する来客

●新潟港ポタリングが開催されました。

（北陸地方整備局　新潟港湾・空港整備事務所）

平成28年9月10日（土）、NPO 法人新潟みなとクラブ主催の「2016新潟港ポタリング」が開催されました。このイベントは、市民の方が好きな新潟県新潟市に位置する新潟西港の風景を決める平成26年度に実施された「にいがた港総選挙」に推薦された所や港ゆかりの地を自転車に乗って散歩感覚で巡るものです。

参加者及びスタッフは、新潟市歴史博物館（みなとぴあ）をスタート・ゴールに、当所構内に係留された大型浚渫兼油回収船「白山」の外観を眺めるなどしながら約15kmのコースを自転車で巡りました。

※「ポタリング」とは、”ｐｏｔｔｅｒ”「ぶらぶらする」と”ｃｙｃｌｉｎｇ”「自転車に乗ること」から、「自転車に乗った散歩」という意味で使われています。

新潟市歴史博物館（みなとぴあ）を元気にスタート

大型浚渫兼油回収船「白山」の大きさにビックリ

休憩ポイントで山ぶどうゼリーなどの御接待

●金沢港大浜地区国際物流ターミナル（拡張部分）完成式典を開催しました。

（北陸地方整備局　金沢港湾・空港整備事務所）

北陸地方整備局と石川県で整備を進めていた金沢港大浜地区国際物流ターミナルについて、岸壁及びふ頭用地の拡張部分が完成し、平成28年9月25日に完成式典を開催しました。

大浜岸壁では拡張部分の完成により、大型貨物船の2隻同時接岸が可能となり利便性が向上するほか、大型クルーズ船の接岸も可能となりました。

当日は、知事、市長、国会議員、地元関係者ら100名を超える方々が出席し、テープカット及びくす玉開披にて完成を祝いました。

テープカット・くす玉開披の様子

●第17新潟技調講演会を開催しました。

（北陸地方整備局　新潟港湾空港技術調査事務所）

平成28年9月29日（木）、新潟県新潟市の新潟市民プラザにおいて「第17回新潟技調講演会」を開催しました。

本講演会は、北陸の海・空のみなとづくりをわかりやすく伝え、市民や港湾関係者の皆様にみなとへの関心と理解を深めて頂くために毎年開催しています。

156名の方にご参加頂いた講演会は、笹所長の挨拶の後、基調講演Ⅰとして、栢原英郎様より「海の上を歩いて楽しむ不思議なインフラ−桟橋−新潟西海岸への一つの提案」と題して、PIERS 研究会で3年間イギリスの桟橋を研究された成果や新潟西海岸を魅力あるインフラとするための桟橋の提案についてご講演頂きました。

基調講演Ⅱでは、港湾空港技術研究所新技術研究開発領域計測・システム研究グループ主任研究官の田中敏成様より「港湾施設の点検作業のための新技術の研究開発について」と題して、非接触肉厚測定技術や桟橋上部工下面の無人点検技術等についてご講演頂きました。

新潟港湾空港技術調査事務所長　笹　挨拶

栢原様による基調講演Ⅰ

田中様による基調講演Ⅱ

会場の様子

●御前崎港客船誘致協議会を設立しました。

（御前崎市役所商工観光課企業港湾室）

国、静岡県、御前崎市、牧之原市、関係団体等で組織する「御前崎港客船誘致協議会」の設立総会が、９月２１日（水）に御前崎市役所にて開催されました。この協議会は、御前崎港に帆船や国内外のクルーズ客船を誘致し、御前崎港の新たな魅力発信や周辺市町と一体となった地域振興を図ることを目的にしています。

この協議会において、２０１８年度に第１号の邦船客船の寄港を目指すこと、受入環境を整えること、おもてなしの検討を行っていくことを確認しました。

また、議事終了後、清水港客船誘致委員会の望月薫会長より「御前崎港に客船を誘致させるためにすべきこと」と題して講演があり、御前崎周辺にも魅力ある観光資源があり、ファムトリップなど積極的な誘致活動を行うことで、クルーズ客船の寄港につながるとの説明がありました。今後は、クルーズ客船の寄港が実現できるよう取り組みを加速して参ります。

御前崎港客船誘致協議会　設立総会

●「境港外港中野地区国際物流ターミナル供用式典」を開催しました。

（中国地方整備局　境港湾・空港整備事務所）

平成28年9月11日（日）、境港市の境港外港中野地区において「境港外港中野地区国際物流ターミナル供用式典」を開催し、関係者約150人が参列して国際物流ターミナルの供用を祝いました。

本事業は、境港における大水深岸壁の不足やふ頭用地の不足に対応するため、外港中野地区において水深12mの国際物流ターミナルの整備を平成24年度に事業化され、今般整備が完了し、供用開始となりました。

式典では、平井伸治鳥取県知事が式辞を述べられ、赤澤亮正衆議院議員、舞立昇治参議院議員、中村勝治境港市長、菊地港湾局長からご祝辞を頂きました。

また、テープカット・くす玉開披は、来賓の方々と一緒に地域の子供たちがゲストとして参加し、来賓の方が子供たちに話しかける場面が見られるなど、和やかな雰囲気の中で行われました。

平井伸治鳥取県知事　式辞

赤澤亮正衆議院議員　祝辞

舞立昇治参議院議員　祝辞

中村勝治境港市長　祝辞

会場の様子と菊地身智雄港湾局長挨拶

テープカット・くす玉開披の様子

●海煌（かいこう）緊急出動で鹿児島湾へ

（九州地方整備局　熊本港湾・空港整備事務所）

台風16号通過後、鹿児島湾内に大量の流木の漂流が確認されました。

この漂流している流木のため付近を航行するジェットフォイル等の船舶の安全性が損なわれる恐れがあり、第十管区海上保安本部及び鹿児島県からの要請により、9月23日未明九州地方整備局所属の調査観測兼清掃船「海煌」が、基地港である八代港から緊急出動しました。

現地到着後、ただちに回収作業に着手し、10月1日までの9日間で、流木1，344本を回収しています。

回収した流木は長さ12mを超えるものもあり、多関節クレーンでつかみ、チェーンソーで切り、コンテナに回収していきます。

「海煌」の活躍に、支援要請を行った鹿児島県からも感謝のことばが寄せられています。

安全・安心な海域を回復するため、引き続き「海煌」は活動していきます。

海上に漂う流木

「海煌」による回収状況①

「海煌」による回収状況②

＊：＊

3 お知らせ

＊：＊

◇「“東京湾大感謝祭2016”を横浜赤レンガ倉庫で開催します～学び、体験して、味わう～！」

（関東地方整備局　港湾空港部　事業継続計画官）

開 催 日：平成28年10月22日（土）～23日（日）10：00～17：00

開催場所：横浜赤レンガ倉庫広場・1 号館（神奈川県横浜市中区新港 1-1）及び周辺海上

東京湾大感謝祭は、市民や企業、団体と国や自治体がともに、海の再生を考え、行動するきっかけを提供する場として、2013年秋に初開催されました。昨年（2015年10月）の東京湾大感謝祭2015は、横浜赤レンガ倉庫とその周辺海上を舞台に開催され、8万8千名の市民や企業、団体、国、自治体の関係者が参加しました。

今年の東京湾大感謝祭では、東京湾再生官民連携フォーラムの活動報告のほか、汽笛の一斉吹鳴、釣り体験教室、スタンプラリーや特別コラボ企画のふるさと納税大感謝祭など、たくさんのイベントが目白押しです。海の環境や水質改善の取り組みについても学ぶことができます。

また、22日（土）のオープニングセレモニーでは、東京湾再生アンバサダーの日本テレビ枡太一アナウンサーが司会を行います。

主　催：東京湾大感謝祭実行委員会

※東京湾大感謝祭2016公式 HP　http://tbsaisei.com/fes/

【開催パンフレット】

◇ 公認釣りインストラクター募集

１、公認釣りインストラクター資格区分

① 海　面：船釣り、磯釣り、投げ釣り、擬似餌釣り（ルアー、フライ）

② 内水面：渓流釣り、清流釣り、止水釣り、擬似餌釣り（ルアー、フライ）

※２０歳以上ならだれでも受講、受験可能です

２、養成講習会会場、日程

①東京会場：東京海洋大学（品川キャンパス）

平成 28 年 11 月 12 日（土）～13 日（日）

②大阪会場：ヒューマンアカデミー大阪心斎橋校

平成 28 年 12 月 3 日（土）～4 日（日）

３、資格試験

2日目の講習終了後、午後から同じ会場で実施

４、申し込みの締め切り　　講習会の1週間前

５、受講、受験料　　20,000円

６、お問い合わせ、お申し込み先

(一社)全日本釣り団体協議会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目6番13号ﾆｭｰ九段ﾏﾝｼｮﾝ1001号

TEL　０３－３２６５－４１９１　FAX　０３－５２７５－７０７７

メール　：　jimukyoku@zenturi-jofi.or.jp

詳細はホームページの『インストラクター』≪募集要項≫をご覧ください

http://www.zenturi-jofi.or.jp/

７、主催者　：　一般社団法人 全日本釣り団体協議会

＊：＊：＊：＊：本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先：＊：＊：＊

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002　港区愛宕１－３－４

TEL：03-5776-0630

FAX：03-5776-0631

e-mail：bcf06323@nifty.com

＊：